

## 2019年度 事業報告書

### (1) 模擬 G7サミット 2018 It's our turn. ～若者の社会参画を推進するには～ Model G7 Summit 2018

主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟 (HPDU of Japan)

後援：(公財) 日本ユニセフ協会

趣旨：①グローバルリーダーにとって必要なスキルを育成するための実践練習の場を提供する。

②高校生の社会貢献活動や社会参画についての意識を高めるとともに、企画・運営力を育成する。

内容：日本における若者の社会参画を推進する取り組み方について英語、又は日本語でディスカッションし、英語で発表する。

日時：2018年8月2日(木) 9:30～15:00

場所：渋谷教育学園渋谷高等学校

参加費：無料

参加校：共立女子第二高等学校、国際基督教大学高等学校、学習院高等科、都立小石川中等教育学校、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、成蹊高校、女子学院、都立千早高校、筑波大学附属駒場中学校、豊島岡女子学園高等学校、都立西高校、広尾学園高等学校、広島女学院高等学校、松が谷高校、武蔵高校、横浜雙葉高等学校、早稲田大学高等学院 (以上17校より30名)

ボランティア：運営委員1名、社会人2名、高校生23名【合計】26名

企画・運営：石川満留、一瀬ルアナ、伊藤有紀、北原璃莉奈、小山栞奈、小山紗英 (以上6名 渋谷教育学園渋谷高校)

特記事項：本企画の内容と質、参加者の英語力が、世界各国の優秀な高校生を集めてサミットを開催しているKNOVVA ACADEMYに高く評価され、2019年3月に開催されたModel G20 Youth Leadership Beijing Summit に5名の生徒が招待された。その結果、25カ国の約300人の高校生の中から、一瀬ルアナ(渋谷教育学園渋谷高校)がExceptional Ministerial Delegate Head of State(最優秀元首賞)と最優秀チーム賞を、宮本陸央(渋谷教育学園渋谷高校)が最優秀チーム賞を受賞。

### (2) 第1回HPDU中学生パラメンタリーディベート大会

HPDU Middle School Competition 2019

主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟 (HPDU of Japan)

協賛：有限責任 あずさ監査法人 (KPMG AZSA LLC)

協力：iae グローバルジャパン株式会社、エイムネクスト株式会社、株式会社EduLab、株式会社オールアバウト、油井アソシエイツ株式会社

趣旨：①全国の中学生に、即興型であるパラメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することにより、グローバル社会で活躍するのに必要とされる英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、クリティカル・シンキング、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緩急やジェスチャー、ユーモアなどを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を身につける意義を伝える。

②高校生の社会貢献活動や社会参画についての意識を高めるとともに、企画・運営力を育成する。また、ジャッジの役割を通して、自己のディベート力を向上させる。

※高校生ジャッジは、18か月以上のパラメンタリーディベート経験があり、公正なジャッジとリフレクが可能な者に限る。

日時：平成 31 年 2 月 17 日(日) 9 時～16 時

場所：渋谷教育学園渋谷中学高等学校

参加資格：中学生(留学生、帰国生、外国籍の生徒も含む)。学校、個人での申し込み共に可能。チームの人数は 3 ～ 5 名(試合に出場するのは 3 人だが、試合ごとに選手入替可能)。人数が足りない場合は、運営側で他の個人申込者と組み合わせてチームを用意。

試合形式：短縮型ノースアメリカン・スタイル [4 分、4 分、4 分、4 分、3 分、3 分] (Constructive speech が 4 分で、Reply speech が 3 分)。4 試合数 4 試合(2 試合以降はパワーペアリング)。

参加費：1 チームにつき 1,500 円(個人申し込みは一人につき 500 円)。

参加校：浅野学園中学校、栄光学園中学校、富士見中学校、攻玉社中学校、東京都立小石川中学校、東京都立両国中学校、日本大学第一中学校、渋谷教育学園渋谷中学校、湘南白百合学園中学校、筑波大学附属駒場中学校、町田市立南大谷中学校、渋谷教育学園幕張中学校

(以上 1 2 中学より 1 6 チーム、名)

Motions(論題)：

Round 1: This House would ban giving of chocolate (and other gifts) on Valentine's Day at junior and senior high schools.

「本院はチョコレート(そしてそのほかのギフト)を中高でバレンタインの日に贈ることを禁じる」

Round 2: This House believes that new movies, or new TV shows which contain smoking scenes should be banned.

「本院は、喫煙のシーンを含む新作映画・テレビ番組を禁じる。」

Round 3: This House prefers world without social networking services (such as Facebook, Twitter, and Instagram) .

「本院は、SNS サービスが存在しない世界を、存在する世界よりも好む。」

Round 4: This house believes that all major political parties in Japan should list an equal number of men and women candidates.

「本院は、全ての日本の主要な政党は選挙にて、女性と男性同数の候補者を擁立するべきと信じる。」

試合結果：優勝：渋谷教育学園渋谷高等学校A、準優勝：筑波大学附属駒場中学校A、3位：渋谷教育学園渋谷高等学校B

ベストスピーカー賞 1 位：吉田光太郎(筑波大学附属駒場)、2 位：黒沢優衣(渋谷教育学園渋谷)、谷口美幸(渋谷教育学園渋谷)

ボランティア：運営委員 5 名、社会人 2 名、高校生 48 名【合計】55 名

高校生運営委員：一瀬ルアナ、小山梨奈、五十嵐詩帆、山下雄起(以上 4 名 渋谷教育学園渋谷)、長田 萌夏、野瀬 はるか、野瀬 ひかる(以上 3 名 富士見高校)

高校生ジャッジ：市岡彪吾(逗子開成)、三橋壮太(さいたま市立浦和)、福井雅弘(さいたま市立浦和)、渡辺丈(栄光学園)、下澤花なん(富士見)、安松花(富士見)、松田健志(浅野)、西本知貴(浅野)、植田歴(浅野)、瀧本拓夢(浅野)、鎌原舞衣(渋谷教育学園渋谷)、齋藤陸(渋谷教育学園渋谷)、林奈都美(渋谷教育学園渋谷)、八十田慶(渋谷教育学園幕張)、太田沙菜(都立両国)

### (3) 日本高校生パラメンタリーディベート連盟西日本オープン 2019

#### HPDU of Kansai Japan Open 2019

主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟 (HPDU of Japan)

趣旨：関西の高校生に、即興型であるパラメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することで、関西でのパラメンタリーディベートの認知を上げ、活動団体の増加を図る。また、即興型ディベートに取り組むことで、英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緩急やジェスチャー、ユーモアを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を涵養できることを共有し、さらには高校生と教員同士の交流を図り、共に学び合うコミュニティの構築を図る。

日時：2019年3月17日(日) 9:00 ~17:00

場所：東大寺学園中・高等学校

内容：World School Debate Championship(WSDC) Style (但し4分、4分、4分、4分、4分、4分、3分、3分)による英語ディベート大会。1チーム3~5名(1試合に出場するのは3人だが、試合ごとに選手入替可能)。人数が足りない場合は、運営側で他の個人申込者と組み合わせてチームを用意。2試合目以降はパワーペアリング。

参加資格：日本国内の高校生(留学生、帰国生、外国籍の生徒も含む)。

参加費：1チーム2,000円(個人での参加は1人700円)

参加校：京都市立日吉ヶ丘高等学校、翔凜高等学校、小林聖心女子学院、関西学院高等部、東山中学・高等学校、近畿大学附属高校、南山高等・中学校女子部、東海高等学校、嵯峨野高等学校、奈良高等学校、大阪高等学校、西大和学園高等学校、千種高等学校、神戸大学附属中等教育学校、大阪学芸高等学校附属中学校、東大寺学園高等学校、大阪府立生野高等学校、大阪府立北野高等学校

(以上18校より30チーム、106名)

Motions(論題)：

Round 1: THW ban school uniforms.

「本院は学校の制服を禁じる」

Round 2: THW introduce a fat tax on junk foods.

「本院は肥満を増加させる食品に税を課す。」

Round 3: THW make voting compulsory.

「本院は義務投票制を実施する。」

Round 4: THW set quotas for women in the Diet.

「本院は女性議員のクォータ制を導入する。」

試合結果：優勝：神戸大学附属中等教育学校A、準優勝：東海高校・南山女子部高等学校合同チーム

3位：神戸大学附属中等教育学校B

ボランティア：運営委員3名、社会人7名、大学生1名、高校生9名【合計】名

招待ジャッジ：中尾晶子、清水悦子、小林雅美、阿部幸子、山崎茂子、小川ゆかり(以上6名ECCジュニア)、諸野雅(京都大学)

#### (4) 第8回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯

HPDU Competition 2019 (Co-sponsored by HPDU and ESU)

共同主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟、一般社団法人 日本英語交流連盟

後援：文部科学省、ブリティッシュ・カウンシル、カナダ大使館、オーストラリア大使館

特別協賛：有限責任 あずさ監査法人

協賛：公益財団法人 日本英語検定協会、iae グローバルジャパン株式会社、株式会社テレビ東京、トヨタ自動車株式会社、キヤノン株式会社、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、ANA ホールディングス株式会社

メディアパートナー：読売新聞社

協力：株式会社アルク、イーエムティー株式会社、エイムネクスト株式会社、株式会社E d u L a b、株式会社オールアバウト、公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団、油井アソシエイツ株式会社

趣旨：即興型であるパラメンタリーディベートの試合を通して、高校生の総合的英語運用能力を伸ばし時事問題への関心、理解を深め、参加者の交流を図る。

日時・場所：

- 1) 都道府県大会 2019 年 1 月 5 日 (土) ~ 2 月 11 日 (月・祝) 場所は各地域で決定し実施
- 2) 全国大会予選 (42 チーム)  
2019 年 3 月 24 日 (日) 9:00~21:00 オリリンピック記念青少年総合センター
- 3) 全国大会決勝トーナメント (上位 8 チーム)、ベスト 9~16 によるトーナメント II  
2019 年 3 月 25 日 (月) 8:45~17:00 オリリンピック記念青少年総合センター

内容: World School's Debating Championships (WSDC) Style (但し本大会用に修正を加えたもの) による英語ディベート大会。

- ・3月24日(日) 42 チームによる全国大会予選、モデルディベート。予選は4 試合行われる。2、3、4 試合目はパワーペアリングとなる。順位は、各チームの勝ち数と得点ポイントで決定。
- ・3月25日(月) 決勝トーナメント (ベスト 8 チーム) とトーナメント 2 (ベスト 9~16 チーム)、英国 ESU メンターによるワークショップ (準決勝と同時刻に実施、希望者が参加)。

参加資格: 日本高校生パラメンタリーディベート連盟に公式認定された各都道府県大会に参加し、出場権を獲得した高校生(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含む)。同一校のチームの参加とする。ただし、英会話スクールなど高等学校以外の団体は例外とする。

参加費: 1 チームにつき 20,000 円(選手及び引率者の大会中の食費、宿泊費を含む)

タイムテーブル：

第 1 日目 (予選)	
9:00	受付
9:30	開会式
10:00	第1試合の対戦表・論題発表 (準備時間20分)
10:20	第1試合開始 (試合後ジャッジによる説明)
12:00	昼食
13:30	第2試合の対戦表・論題発表 (準備時間20分)
13:50	第2試合開始 (試合後ジャッジによる説明)
15:00	第3試合の対戦表・論題発表 (準備時間20分)
15:20	第3試合開始(試合後ジャッジによる説明はなし)

16:30	プレゼンテーション① 公益財団法人日本英語検定協会教育事業部 4 技能推進課主任 小原利恵子氏 『英検・TEAP・IELTSを活用しよう!』
17:30	夕食
19:00	第4試合の対戦表・論題発表
19:20	第4試合開始
20:20	英国ESUメンター、昨年度HPDU杯優勝選手、社会人ディベーター、大学生ディベーターによるモデルディベート
21:00	伝達後解散

第2日目 (決勝トーナメント)	
9:00	集合・受付・予選通過チーム発表
9:30	準々決勝対戦表・論題発表 (準備時間25分)
9:55	準々決勝試合開始
11:10	準決勝対戦表・論題発表(準備時間25分)
11:35	準決勝試合開始
12:20	昼食
13:30	決勝対戦表・論題発表 (準備時間25分)
13:40	プレゼンテーション② 株式会社 テレビ東京総務人事局総務部TXHD CRS推進委員会事務局長 高塚有香氏、 株式会社 テレビ東京 編集局アナウンス部 前田真理子氏 『次世代育成キャリア教育プログラムと社会で活躍するためのスキル』
14:00	決勝 試合開始
15:10	プレゼンテーション③ iaeグローバルジャパン株式会社 代表取締役 左近充隼人氏
15:30	閉会式 表彰
16:00	解散

都道府県大会参加校：愛知県立旭丘高等学校、東海高等学校、千種高等学校、茨城県立緑岡高等学校、茨城県立日立第一高等学校、茨城県立古河第三高等学校、茨城県立竹園高等学校、水戸第一高等学校、清真学園高等学校、茨城県立水戸第二高等学校、茨城県立並木中等教育学校、岩手県立盛岡北高等学校、岩手県立一関第一高等学校、原田学園鹿児島情報高等学校、鹿児島育英館高等学校、鹿児島県立大島高等学校、鹿児島県立鶴丸高等学校、鹿児島県立甲南高等学校、鹿児島県立武岡台高等学校、ラ・サール高等学校、桐光学園、浅野学園高等学校、慶應義塾高等学校、湘南白百合学園高等学校、聖光学院高等学校、関東学院六浦中学校・高等学校、逗子開成中学校高等学校、相模原高校、洗足学園高等学校、慶應義塾湘南藤沢高等部、カリタス女子高等学校、神奈川県立厚木高等学校、栄光学園高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、湘南高校、岐阜県立岐阜高等学校、群馬県立前橋高等学校、埼玉県立伊奈学園総合高等学校、開智高等学校、埼玉県立浦和高等学校、さいたま市立浦和高等学校、埼玉県立大宮高等学校、佐賀県立佐賀西高等学校、藤枝明誠中学校高等学校、静岡県立三島北高校、渋谷教

育学園幕張高等学校、翔凜高等学校、千葉県立松戸国際高等学校、千葉県立匝瑳高等学校、千葉県立船橋高等学校、市川高校、豊島岡女子学園高等学校、富士見高校、東京都立小石川中等教育学校、筑波大学附属駒場高等学校、東京都立三田高等学校、慶応義塾女子高等学校、成蹊高校、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、攻玉社高等学校、東京都立両国高等学校、東京都立小平高等学校、学芸大学附属高校、東京都立日比谷高校、獨協中学高等学校、駒場東邦高等学校、東京都立国際高等学校、白百合学園中学高等学校、宇都宮東高等学校、栃木県立大田原女子高等学校、栃木県立足利高等学校、栃木県立宇都宮女子高等学校、栃木県立佐野高等学校、大田原高等学校、宇都宮高校、松本深志高等学校、県ヶ丘高校、伊那北高校、東大寺学園高等学校、藤島高等学校、神戸大学附属中等教育学校、日吉が丘高等学校 (以上 82 高校)

全国大会参加校：愛知県立旭丘高等学校、愛知県立千種高等学校、茨城県立日立第一高等学校、茨城県立緑岡高等学校、茨城県立竹園高等学校、茨城県立並木中等教育学校、岩手県立一関第一高等学校、ラ・サール高等学校、学校法人原田学園鹿児島情報高等学校、神奈川県立湘南高等学校、聖光学院高等学校、浅野高等学校、栄光学園高等学校、慶應義塾湘南藤沢中等部・高等部、桐光学園高等学校、逗子開成高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、岐阜県立岐阜高等学校、京都市立日吉ヶ丘高等学校、群馬県立前橋高等学校、さいたま市立浦和高等学校、埼玉県立伊奈学園総合高等学校、佐賀県立佐賀西高等学校、静岡県立三島北高等学校、渋谷教育学園幕張高等学校、翔凜高等学校、千葉県立松戸国際高等学校、渋谷教育学園渋谷高等学校、東京都立小石川中等教育学校、獨協中学高等学校、東京都立国際高等学校、富士見高等学校、豊島岡女子学園高等学校、筑波大学附属駒場高等学校、攻玉社高等学校、栃木県立宇都宮東高等学校、栃木県立宇都宮高等学校、栃木県立大田原女子高等学校、松本深志高等学校、東大寺学園中・高等学校、神戸大学附属中等教育学校、福井県立藤島高等学校

(以上 42 高校 42 チーム 126 名)

#### Motions (論題):

予選 Round 1: This House would ban beauty contest.

「本院は美人コンテストを禁止する。」

予選 Round 2: This House would introduce conscription.

「本院は徴兵制を導入する。」

予選 Round 3: This House would completely ban broadcasting of suicide.

「本院は自殺に関する報道を完全に禁止する。」

予選 Round 4: This House would ban all forms of gambling.

「本院は全ての賭け事を禁止する。」

準々決勝： This House would can ban use of combat drones.

「本院は戦闘用ドローンの使用を禁止する。」

準決勝： This House would trade with oppressive regimes.

「本院は人々を抑圧している政権と貿易する。」

決勝： This House believes that free speech should include the right to offend.

「本院はフリースピーチは相手の感情を害する権利も含むべきだと信じる。」

予選大会結果

順位	学校名	勝ち数	合計得点
1	渋谷教育学園渋谷高等学校	4	1102.5
2	渋谷教育学園幕張高等学校	4	1098.5
3	栄光学園高等学校	4	1060
4	浅野高等学校	3	1088
5	愛知県千種高等学校	3	1086
6	豊島岡女子学園高等学校	3	1085
7	栃木県立宇都宮東高等学校	3	1081
8	宇都宮高等学校	3	1069
9	桐光学園高等学校	3	1066
10	攻玉社高等学校	3	1064
11	さいたま市立浦和高等学校	3	1063.5
12	東京都立国際高等学校	3	1060
13	神奈川県立柏陽高等学校	3	1056
14	筑波大学附属駒場高等学校	2	1083.5
15	神戸大学附属中等教育学校	2	1081
16	慶應義塾湘南藤沢中部・高等部	2	1074
17	翔凛高等学校	2	1073
18	愛知県立旭丘高等学校	2	1073
19	藤島高等学校	2	1068
20	松本深志高等学校	2	1063.5
21	ラ・サール高等学校	2	1062.5

順位	学校名	勝ち数	合計得点
22	静岡県立三島北高等学校	2	1057
23	埼玉県立伊奈学園高等学校	2	1057
24	富士見高等学校	2	1056.5
25	茨城県立並木中等教育学校	2	1056
26	聖光学院高等学校	2	1051.5
27	千葉県立松戸国際高等学校	2	1040
28	東大寺学園中・高等学校	2	1040
29	佐賀県立佐賀西高等学校	2	1037.5
30	逗子開成高等学校	1	1067.5
31	茨城県立日立第一高等学校	1	1065
32	栃木県立大田原女子高等学校	1	1063
33	岩手県立一関第一高等学校	1	1061
34	東京都立小石川中等教育学校	1	1060
35	茨城県立竹園高等学校	1	1059.5
36	茨城県立緑岡高等学校	1	1041
37	湘南高校	1	1040
38	岐阜県立岐阜高等学校	1	1038
39	京都市立日吉ヶ丘高等学校	1	1028.5
40	学校法人原田学園鹿児島情報高等学	0	1041.5
41	群馬県立前橋高等学校	0	1040.5
42	獨協中学高等学校	0	1039

決勝大会結果

優勝：渋谷教育学園幕張高等学校 準優勝：浅野学園高等学校

3位：渋谷教育学園渋谷高等学校、豊島岡女子学園高等学校

5位：栄光学園高等学校、愛知県立千種高等学校、栃木県立宇都宮東高等学校、栃木県立宇都宮高等学校

ジャッジ（審査員）：パーラメンタリーディベート経験豊富な社会人と大学生をジャッジとして招待した。また、英国ESUから英国の大学生ディベートメンター2名（サレー大学、イーストアングリア大学）をジャッジおよびメンターとして招聘した。予選大会では各ディベートに対し1人～3人のジャッジが審査を行い、予選第1試合と第2試合終了後にはジャッジが口頭で試合の勝敗とその理由を説明した。準々決勝では各ディベートに5人、準決勝では27人、決勝では20人のジャッジが審査を行った。

招待ジャッジリスト：

1 Mitsushi Ono 慶應義塾大学OB, Chief Coach of JPDU 31 times champion, 26 times best speaker, ESL Quarter Finalist and EFL 4th best speaker at WUDC 2015.

2 Yusuke Fuse 慶應義塾大学法学部政治学科 WUDC 2019 EFL Champion

- 3 Yoshifumi Omura 名古屋大学大学院理学研究科 Open Semi Finalist & 2nd Best EFL Speaker, Pre-NEAO 2018, CA, BP Novice 2017
- 4 Kaito Suzuki 慶應義塾大学商学部 Octo finalist ICUT and JPDU Spring Tournament 2018, Grand Final judge JPDU Autumn Tournament 2018
- 5 Yoko Fujii 慶應義塾大学法学部 -Breaking Adjudicator, Kyushu Cup 2016 -Octofinalist, Summer ADIT2016 -3times Breaking Adj in domestic tournaments
- 6 Keiichiro ito AGU OB 千代田区立九段中等 国語科 教諭 Breaking adjudicator
- 7 Akiko Hamahara ECCジュニア 講師 2010ESUJ champion
- 8 Yuriko Mori 早稲田大学OG
- 9 Naoki Enomoto 東京工業大学 OB DCA, JPDU Spring Tournament 2018
- 10 Takashi Imai 上智大学文学部 Grand final adjudicator Titech Cup2019
- 11 Kiyoshi Kawakami 東京大学 経済学部OB Semi Finalist in JPDU spring tournament. Participated in WSDC 2013
- 12 Kazune Kawahata 成蹊大学文学部 Chief of Seikei ESS Debate Section 2018
- 13 Kentaro Hoshiba 慶應義塾大学経済学部
- 14 Fumiko Takakuwa ECCジュニア 講師
- 15 Ryo Hayakawa 慶應義塾大学OB "Debater: Best speaker (Spring JPDU 2009), 2nd best speaker (Autumn JPDU 2009), Best speaker (Japan BP 2009), 2nd best speaker (The Kansai 2010) Adjudicator: Best adjudicator (ICU T 2011), Best adjudicator (Pre-Australis 2014), Best adjudicator (Icho Cup 2015), Best adjudicator (QDO 2016), Best adjudicator (Gemini Cup 2017)"
- 16 Kumiko Bunno ECCジュニア 講師
- 17 Emmy Howe ECCジュニア 講師
- 18 Yuta Mochizuki 東海大学OB 藤枝明誠中学校高等学校 英語科教員 breaking adjudicator Lecturer in JPDU seminar (long time ago)
- 19 Amane Kawano HPDU運営サイド
- 20 Isao Ayabe HPDU運営サイド
- 21 UK Judge HPDU運営サイド
- 22 UK Judge HPDU運営サイド
- 23 Riku Saito 渋谷教育学園渋谷OB Champion and Best Speaker (HPDU 2018, PDAWC 2018)
- 24 Mai Kambara 渋谷教育学園渋谷OG Champion (HPDU 2018, PDA2018, PDAWC 2018), WSDC Team Japan 2017
- 25 Mana Fujita 渋谷教育学園渋谷OG Champion (HPDU 2018, PDA2018, PDAWC 2018)
- 26 Ayaka Hasegawa 成蹊大学経済学部 Breaking adjudicator(JPDU Spring tournament 2017,Umeko Cup 2017,Japan BP 2017)
- 27 Shunsuke Kanda 慶應義塾大学4年・渋谷OB Osawa cup 2018 Grand finalist
- 28 Hiroki Yokoyama 京都大学OB WUDC 2014 EFL Semi Finalist, Paris Centrale IV 2013 Finalist, Lomdom SOAS IV 2013 ESL Finalist, ADI Winter 2014 Champion
- 29 Yotaro Nada 東京大学前期教養学部
- 30 Yuuki Takimoto 成蹊大学法学部2年 The Kansai 2018 Quator Finalist, Debate no susume Lesson 15 Quator Finalist



31 Yuki Kasagawa 東京大学法学部 JPDU spring tournament 2018 Oct finalist, Debate no susume  
Lesson 15 Breaking adjudicator

32 Yui Kawaguchi 慶應義塾大学総合政策学部 JPDU Autumn tournament 2018 Quarter Finalist ,  
Umeko Cup 2018 Champion

33 Kazumasa Miki 上智大学文学部OB 5th best adjudicator, Japan BP 2017

34 Ryosuke Yoshida 渋谷教育学園渋谷OB PDWC 2017 Champion & 3rd Best Speaker

35 Junji Yamamoto 慶應義塾大学経済学部

36 Hiroyuki Shibuya 東京大学OB "JPDU Autumn tournament 2017 Grand Finalist & 3rd Best  
Speaker

Debate no susume Lesson 14 Semi Finalist & 3rd Best Spealer"

37 Naoki Temmyo 成蹊OB broke as adjudicator at some tourneys

38 Ibuki Sakanushi 慶應義塾大学4年・宇高OB

39 Shuto 東京大学3年

40 Kazumasa Miki 上智大学OB 5th best adjudicator, Japan BP 2017

ボランティア：運営委員19名、大学生50名、社会人20名、会場校生徒他12名【合計】101名

HPDU役員以外の運営委員：

吉野舞起子（一般社団法人 日本英語交流連盟（ESUJ）事務局長）

岡祐司（渋谷教育学園渋谷高等学校教諭）

西山哲郎（東大寺学園中・高等学校）

英国 ESU メンター：

Ameena Khan Sullivan (University of Surrey, former President of University of Surrey Debating  
Society)

Edward Booth (University of East Anglia, former President and head coach of University of East  
Anglia Debating Union)

モデルディベーター：

齋藤陸（第7回 HPDU 杯全国大会優勝者、渋谷教育学園渋谷高校3年）

早川亮（慶應義塾討論会 OB、ボストンコンサルティンググループ勤務、2009年度 Spring JPDU  
Tournament 個人1位、2009年度 Autumn JPDU Tournament 個人2位、2009年度 Japan  
BP 個人1位、2009年度 The Kansai 個人2位、2009年度 ICU Tournament 準優勝、2009  
年度ディベートのすすめ準優勝）

ハウス文恵（ECC ジュニア・BS 講師）

各種教育奨励賞：

1) ESUJ 賞：優勝チームを英国で行われる英国 ESU 主催ディベートキャンプ Debate Academy 2019  
へ招待（2019年7月28日から8月3日）

2) iae グローバルジャパン賞：準優勝チームを豪州シドニー工科大学語学研修に招待（2019年7月28  
日から8月3日）

3) あずさ監査法人賞：参加者全員に HPDU 特製パラメンタリーディベート練習用テキストを贈呈

4) 日本英語検定協会賞：予選ベストスピーカー賞受賞生徒、決勝トーナメント出場校に図書カードを  
贈呈

5) 日本フィルハーモニー交響楽団賞：上位4チームにコンサートチケット、または音楽 CD を贈呈

6) キヤノン賞：第3位のうち1チームにデジタルカメラを贈呈

- 7) キヤノンマーケティングジャパン賞：第3位のうち1チームにスマホ専用ミニフォトプリンターを贈呈
- 8) アルク賞：優勝トーナメントおよびトーナメント2（9位から16位）出場チームに『AFN・VOA・BBCで聴く10年』を贈呈

特記事項：本大会に参加した高校生の発信力が高く評価され、大学生を中心とする世界の若者を集めてサミットを開催しているY7/Y20が、G20大阪サミットに先がけ、各国の若者が集まってG20の首脳陣に提出する政策提言を作成するY20サミットのオープニングイベントG20ユースダイアログ（5月26日 於立教大学）に、HPDU杯全国大会でベスト16に入った学校が招待された。そこで、有識者およびG20諸国の大学生と共に少人数グループに分かれて政策に関するディスカッションを行った。

## (5) 第8回 高校生英語パラメンタリーディベート連盟新緑杯東日本大会・西日本大会 HPDU Spring Greenery Competition of East Japan / West Japan 2019

主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟

後援：公益財団法人 日本英語検定協会、一般社団法人 日本英語交流連盟

協賛：有限責任 あずさ監査法人

協力：iae グローバルジャパン株式会社、エイムネクスト株式会社、株式会社EduLab、株式会社オールアバウト、油井アソシエーツ株式会社

日時：2019年6月9日（日）9：00～17：00

場所：東日本大会 さいたま市立浦和高等学校、西日本大会 香里ヌヴェール学院中学高等学校

試合形式：

- (1) 試合：ノースアメリカンスタイル（7分、7分、7分、7分、4分、4分）。1チーム3名、3試合（2・3試合はパワーペアリング）、準備時間は20分とする。
- (2) 得点ポイントの高かったチーム、経験者ディベーター、新人ディベーターを表彰。
- (3) 新人ディベーター育成を目的としたポイント制スコアシートを使用。

参加資格：

- (1) チームの登録人数は5人まで。試合ごとのチーム内の交代は自由。ただし、試合ごとチーム内には必ず新人ディベーターが1人は含まれていること。新人ディベーターとは、パラメンタリーディベート経験がおおよそ10ヵ月未満の生徒を指す。（3年生のみのチームは不可。）
- (2) 日本の高等学校在学者または、高等専門学校の3年までに在学の生徒。
- (3) 英語のネイティブスピーカーは不可。
- (4) 以下の海外生活経験等に該当する者は、各試合に参加できるのは1名までとする。
  - ・英語を第1言語とする国で12か月以上滞在経験のある生徒。
  - ・英語を第2言語とする国の出身である生徒。
  - ・家庭で常用的に英語を使っている生徒。

参加費：1チームにつき3,000円

Motions(論題)：

Round 1: This House believes that schools should not punish students for information found on social networking sites.

「SNS上で見つかった情報を理由に学校は生徒を罰するべきではないと本院は信じる」

Round 2: This House believes that nuclear weapons make the world a safer place.

「本院は核兵器は世界をより安全にしていると信じる」

Round 3: This House believes that new movies, or new TV shows which contain smoking scenes should be banned or alternatively any such scene should be removed.

「本院は、喫煙のシーンを含んでいるテレビ番組の放送や映画の上映を禁止、または喫煙のシーンを削除すべきと信じる」

Round 4 : This House believes that individuals should be able to sell their vote.

「本院は、個人は選挙で自分の票を売ることができるようにすべきと信じる」

東日本大会参加校：愛知県立旭丘高等学校、東海高等学校、水戸第一高等学校、日立第一高等学校、並木中等教育学校、埼玉県立川越女子高校、さいたま市立浦和高等学校、伊奈学園総合高等学校、草加南高等学校、桐光学園中学高等学校、聖光学院高等学校、慶應義塾湘南藤沢中・高等部、湘南高等学校、逗子開成高等学校、関東学院六浦高等学校、神奈川県立相模原高校、神奈川県立多摩高等学校、浅野高等学校、洗足学園高等学校、柏陽高等学校、栄光学園高等学校、加藤学園暁秀高等学校、翔凛高等学校、千葉県立松戸国際高等学校、渋谷教育学園幕張高等学校、千葉市立稲毛高等学校、広尾学園高等学校、攻玉社高等学校、小平高等学校、成蹊高等学校、京都 早稲田大学高等学院、東京学芸大学附属高等学校、東京都立国際高等学校、東京都立千早高等学校、白鷗高等学校、東京都立千早高等学校、白百合学園中学高等学校、渋谷教育学園渋谷高等学校、筑波大学附属駒場高等学校、東京都立小石川中等教育学校、東京都立三田高等学校、東京都立両国高等学校、富士見高等学校、豊島学園女子高等学校、栃木県立宇都宮女子高等学校、栃木県立足利高等学校、宇都宮高等学校、宇都宮東高等学校  
(以上46校68チーム 初心者197名 経験者92名 合計289名)

西日本大会参加校：神戸大学附属中等教育学校、大阪学芸高等学校、関西学院高等部、同志社国際高等学校、福井県立藤島高等学校、近畿大学附属高等学校、東大寺学園高等学校、愛知県立千種高等学校、南山高等・中学校女子部、徳島県立城ノ内中学校・高等学校、徳島県立城ノ内中学校・高等学校、香里ヌヴェール学院中学校・高等学校  
(以上12校18チーム、37名)

東日本大会試合結果：優勝：栃木県立宇都宮高等学校A、準優勝：渋谷教育学園渋谷高等学校A、  
3位：浅野高校A、4位：渋谷教育学園渋谷高等学校B、5位：浅野高校B、  
6位：神田女学園・かえつ有明・広尾学園 joint、7位：渋谷幕張高等学校B、  
8位：都立小石川中等教育学校、9位：さいたま市立浦和高等学校B、  
10位：逗子開成中学高等学校

西日本大会試合結果：優勝：神戸大学附属中等教育学校A、準優勝：福井県立藤島高等学校A、  
3位：大阪学芸高等学校・関西学院高等部・同志社国際高等学校合同チーム

東日本大会ボランティア：運営委員10名、大学生13名、社会人3名、高校生20名【合計】44名

西日本大会ボランティア：運営委員1名、大学生3名、社会人4名、高校生6名【合計】14名

東日本大会招待ジャッジ：倉田芽衣(Ginnell College)、齋藤陸(慶応大学)、橋本優妃奈(慶応大学)、伊藤翼(慶応大学)、杉山佑奈(早稲田大学)、鈴木玄(早稲田大学)、山口光翔 (ICU大学)、早川亮  
西日本大会招待ジャッジ：大西将央 (大阪大学)、高乗文子 (ECCジュニア)、関天平 (立命館大学)、池田マリア (国際教養大学)、岡本領子 (京都府立嵯峨野高校)

## (5) 理事によるディベート普及活動

### 北原理事長

- ・2018年6月26日(日) 京都高校生ディベート練習会 ジャッジ
- ・2018年8月 渋谷教育学園幕張高校 SGH研究発表会 発表者
- ・2019年3月29日 ESUJ 主催・京都 英語ディベートセミナー スピーチ

### 小林理事

- ・2018年7月31日 茨城県高英研 教員セミナー 講師
- ・2018年8月4日 栃木県佐野高校・招待ジャッジ(論題作成)
- ・2018年8月24日 全国英語教育学会・第44回京都研究大会 研究発表「英語ディベートの試合の評価: ジャッジ間でどの程度評価の違いがあるのか」
- ・2019年1月31日 「英語ディベート 高校授業用テキスト(教員用)」出版(Amazon.co.jp オンデマンド出版)
- ・2019年3月27日 茨城県高英研 教員セミナー 講師
- ・2019年3月29日 ESUJ 主催・京都 英語ディベートセミナー 講師

### 西崎理事

- ・2018年7月30、31日 神奈川県立厚木高校 ワークショップ
- ・2018年9月16日 神奈川県立相模原中等教育学校 ワークショップ
- ・2019年1月13日 愛知県立旭丘高校 ワークショップ
- ・2019年3月10日 筑波大学附属駒場中学高等学校 ワークショップ
- ・2019年3月20、21日 栃木県宇都宮東高等学校 ワークショップ
- ・2019年5月19日 栃木県宇都宮東高等学校 ワークショップ
- ・2019年6月2日 Philosophy Open 準優勝

### 須田理事

- ・2018年5月5日(土) 筑波大学附属駒場中・高等学校 練習会(中学・高校生向け)・ジャッジ講習会(学校教員向け)開催
- ・2018年10月27日(土) 講演 第1回アクティブラーニングセミナー「これからの英語教育を考える ~英語ディベートなどの手法を用いて~」 主催:(株)ヒューマン・ブレイン国際事業本部 @ (株)ヒューマン・ブレイン国際事業本部
- ・2018年11月25日(日) 岩倉高等学校 講演「即興型ディベートによる英語学習の動機づけと授業への導入」主催:NPO 法人教育情報プロジェクト
- ・2018年11月5日(土) 東海大学湘南校舎 講演「授業でのディベートの活用例について」 主催: 東海大学文学部英語文化コミュニケーション学科
- ・2019年3月16日(土) 筑波大学附属駒場中・高等学校 練習会(中学・高校生向け)開催
- ・2019年3月17日(日) 筑波大学附属駒場中・高等学校 練習会(中学・高校生向け)開催
- ・実践研究論文「即興型英語ディベートによる英語学習の動機づけに関する研究」EIKEN STEP BULLETIN vol.30 2018 にて公開中

### 河野理事

- ・2018年8月8日 SEED in 名古屋 教員向けワークショップ
- ・2018年8月8日 SEED in 名古屋 生徒向けワークショップ
- ・2018年8月8日 PDA Open トーナメントディレクター



- ・2018年8月24日 千葉県サマーカップ 招待ジャッジ
- ・2018年9月03日 神奈川県教員研修 レクチャー
- ・2018年9月04日 ECC 教員向け特別ワークショップ
- ・2018年9月24日 社会人英語ディベートトーナメント (IDPC) トーナメントディレクター
- ・2018年10月8日 逗子開成高校ディベートワークショップ
- ・2018年10月9日 愛知県立旭ヶ丘高校ディベートワークショップ
- ・2018年12月5日 神奈川県立横須賀高校英語ディベートワークショップ
- ・2018年12月22日 ECC 東北地区 教員向けワークショップ
- ・2019年1月12日 京都府公立高校英語ディベートワークショップ
- ・2019年1月14日 ECC 関西地区 教員向けワークショップ
- ・2019年1月16日 神奈川県立横須賀高校 英語科教員向けワークショップ
- ・2019年1月17日 神奈川県立柏陽高校英語ディベートワークショップ
- ・2019年1月23日 神奈川県立柏陽高校英語ディベートワークショップ
- ・2019年2月05日 茨城県立竹園高校英語ディベートワークショップ
- ・2019年2月06日 神奈川県立横須賀高校 英語科教員向けワークショップ
- ・2019年2月07日 神奈川県立柏陽高校英語ディベートワークショップ
- ・2019年2月18日 埼玉県立大宮高校英語ディベートワークショップ
- ・2019年2月23日 大妻中野中学校・高等学校出張授業 (英語ディベート)
- ・2019年2月24日 攻玉社英語ディベートワークショップ
- ・2019年2月26日 京都府立日吉ヶ丘高校 海外研修トレーニング
- ・2019年3月8日 逗子開成高校英語ディベートワークショップ
- ・2019年3月16日 栃木県冬季ディベート大会チーフジャッジ
- ・2019年3月21日 柏陽高校 学年行事 (fun fun English) 招待講演・ジャッジ
- ・2019年3月29日 竹園高校英語ディベートワークショップ
- ・2019年3月30日 ECC 東海地区 教員向けワークショップ
- ・2019年4月3日 神奈川県立横須賀高校 職員向けワークショップ
- ・2019年4月7日 柏陽高校英語ディベートワークショップ
- ・2019年6月15日 高校英語ディベート・ホームページ公開

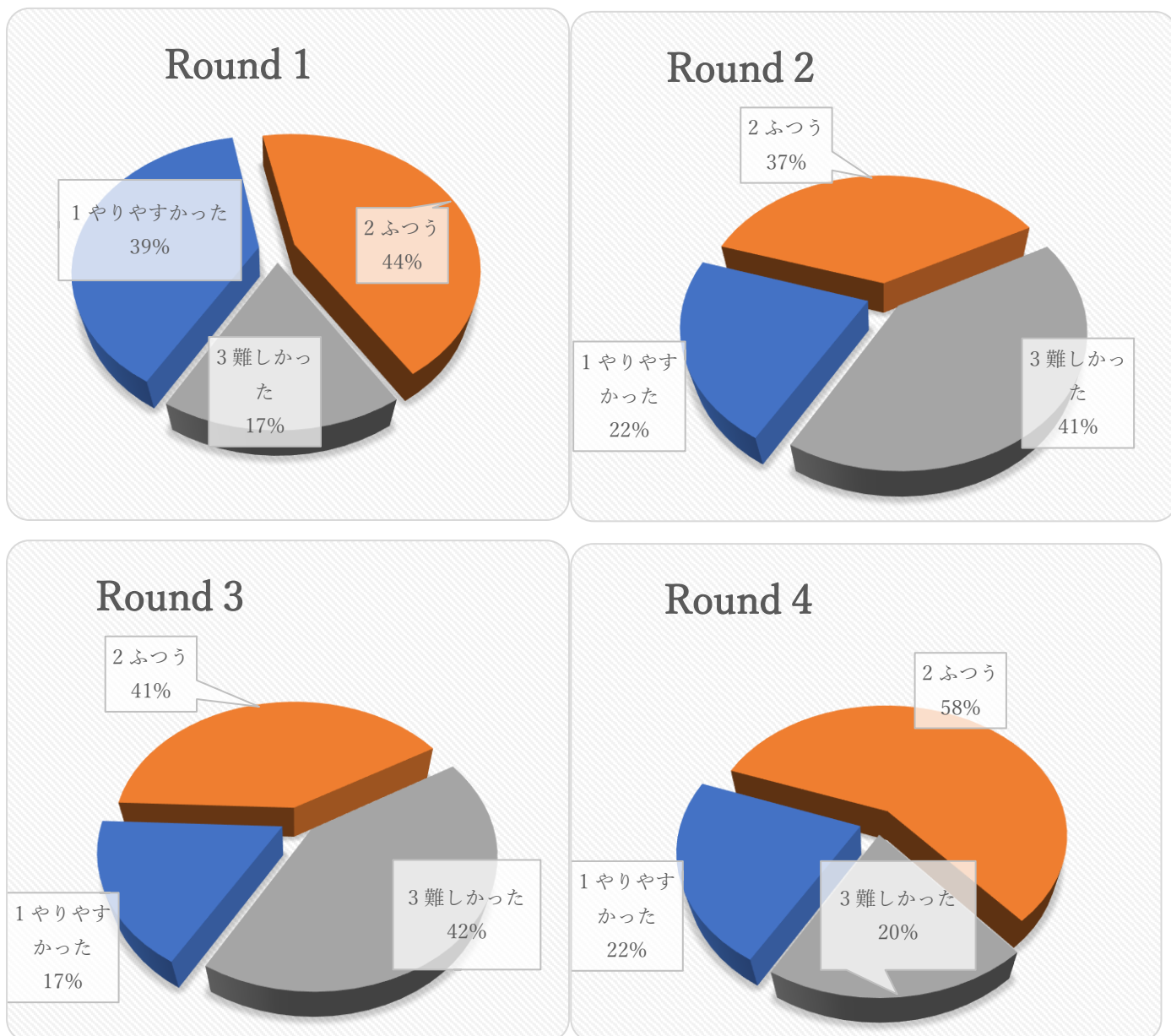
#### 小野チーフコーチ

- ・2018年12月16日：藤枝明誠高校ディベート練習会講師
- ・2018年12月9日東海高校 愛知高校生ディベート練習会講師 対象：旭ヶ丘高校、千種高校英語ディベート部生徒
- ・2019年1月、2月毎週火曜・木曜：筑波大学附属駒場コーチング
- ・2019年1月14日藤枝明誠高校 静岡高校生ディベート練習会講師 対象：藤枝明誠高校、三島北高校生徒
- ・2019年1月26日：浅野高校レクチャー
- ・2019年2月1日大学生練習会講師 対象：大学一年生 (ICU、東京大学、一橋大学、慶應大学、早稲田大学の英語ディベート部部員)
- ・2019年2月21日 豊島岡女子高校校内ディベート大会審査員
- ・2019年2月21日 高校生オンラインレクチャー 場所オンラインプラットフォーム Mixidea
- ・2019年2月23日：渋谷教育学園幕張コーチング

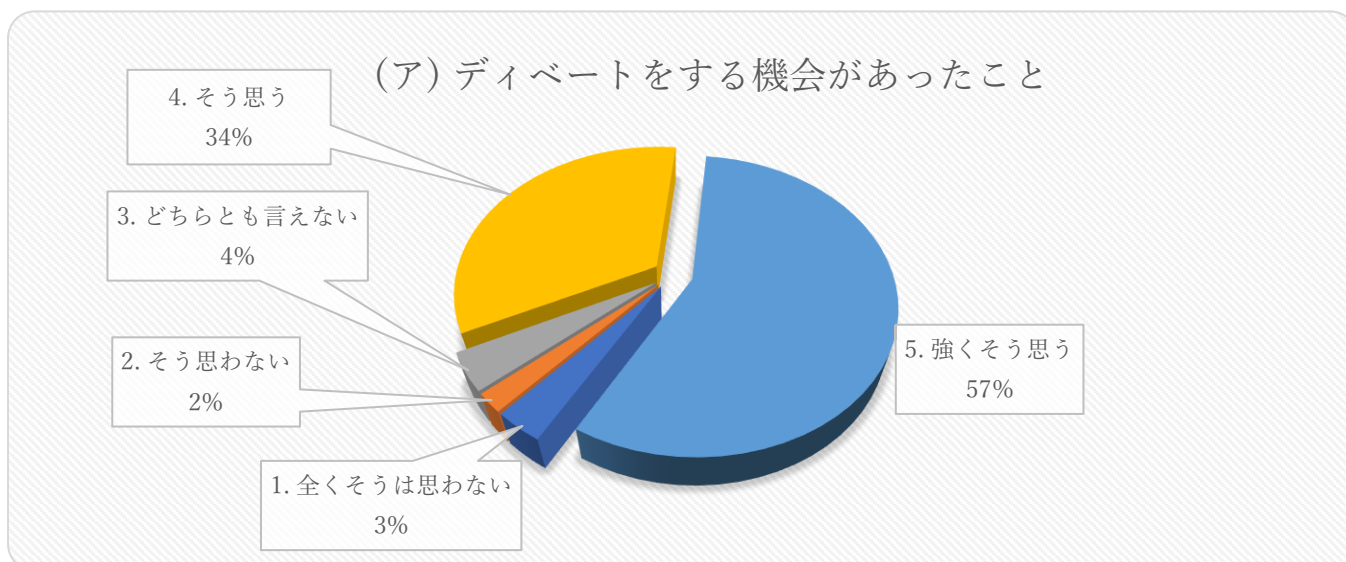
- ・ 2019年2月24日 ECC 東京ディベート練習会講師
- ・ 2019年2月28日：小石川高校コーチング
- ・ 2019年2月28日：旭ヶ丘高校オンラインコーチング
- ・ 2019年3月9日 湘南白百合中学・高等学校 コーチング
- ・ 2019年3月10日：宇都宮東高校コーチング
- ・ 2019年3月12日 京都嵯峨野高校英語ディベート部コーチング オンラインプラットフォーム Mixidea
- ・ 2019年3月16日、17日 筑波大学附属駒場高校 高校生東京練習会コーチング 対象：筑波大学附属駒場高校英語ディベート部生徒、渋谷教育学園渋谷高校英語ディベート部生徒、浅野高校英語ディベート部生徒、逗子開成高校英語ディベート部生徒
- ・ 2019年3月16日 山崎学園富士見高等学校 英語ディベート部コーチング
- ・ 2019年3月17日 ECC 東京ディベート練習会講師 対象：ECC ジュニア、ホームティーチャーと生徒（中学生～高校生）
- ・ 2019年3月20日 早稲田大学 Sales Force にて講演 対象：早稲田大学 OB 勉強会 Sales Force 会 2019
- ・ 2019年3月21日 逗子高校生自主練習会コーチング 対象：逗子開成英語ディベート生徒、渋谷教育学園渋谷ディベート部生徒、浅野高校ディベート部生徒
- ・ 2019年4月14日 桜新町区民会館 ECC 東京ディベート練習会講師
- ・ 2019年5月12日 奈良産業会館 ECC 関西ディベート練習会講師 対象：ECC ジュニア、ホームティーチャーと生徒（中学生～高校生）
- ・ 2019年6月1日 武蔵野大学附属千代田高校 高校生千代田練習会 対象：千代田高校、海城高校、慶應高校、市川高校、並木高校生徒
- ・ 2019年6月4日 北九州大学英語ディベートサークルオンラインコーチング
- ・ 2019年6月7日 芝浦工業大学練習会にてレクチャー
- ・ 2019年6月8日 千葉県翔凜高校 翔凜練習会にてレクチャー
- ・ 2019年6月29日 一橋大学英語ディベートサークルにてレクチャー・2019年6月30日 ECC 四日市練習会にてレクチャー

## ■ 第8回連盟杯 参加者アンケート集計 (回答総数 123)

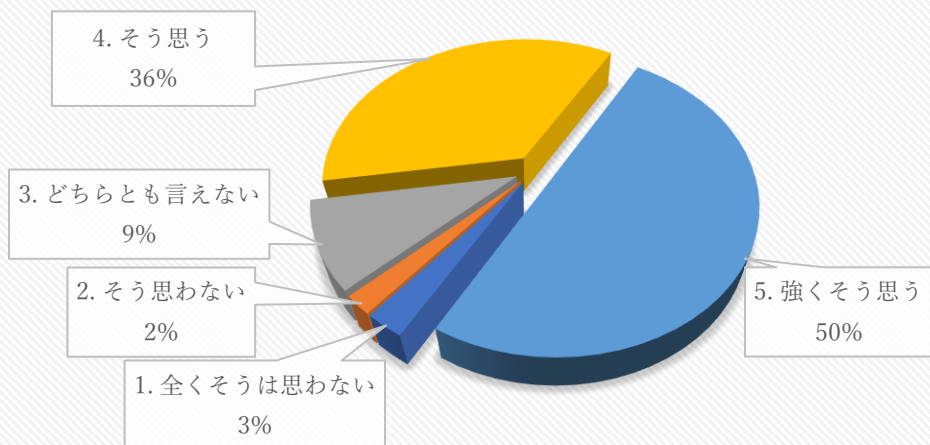
### 1. 予選試合の論題はどうでしたか



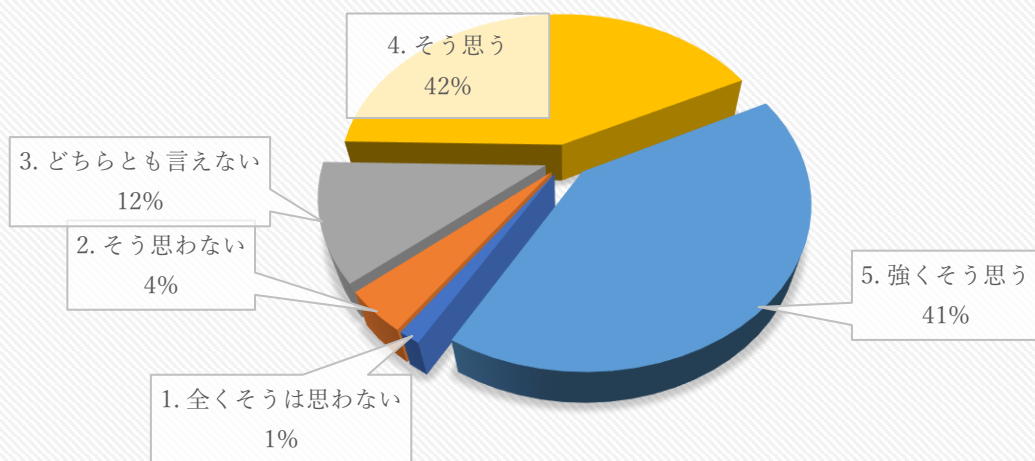
### 2. この大会で良かったことは何ですか。



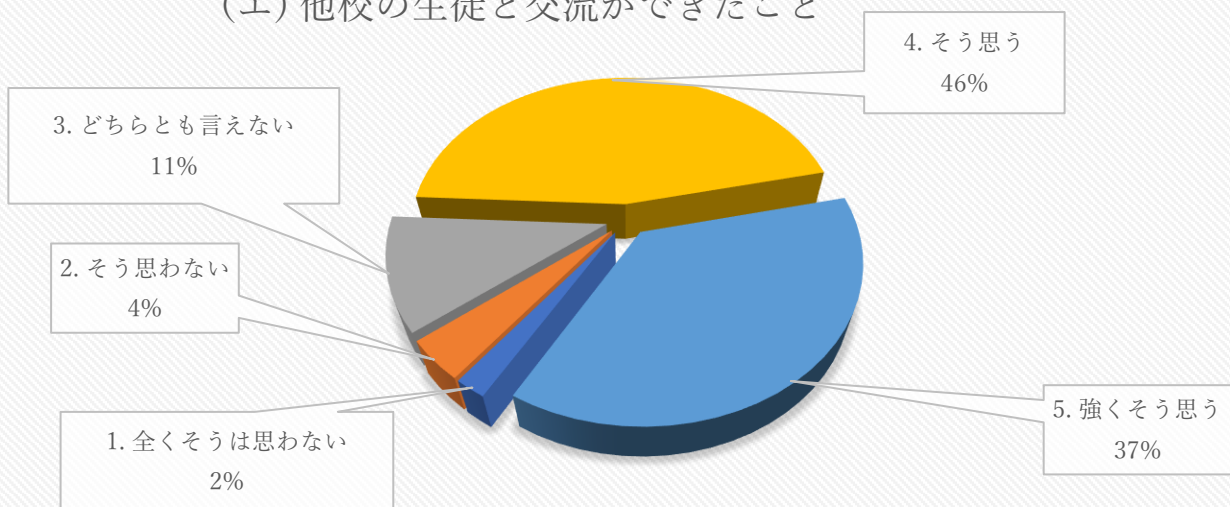
(イ) ジャッジの講評が参考になったこと



(ウ) 他校の生徒を見て励みになったこと

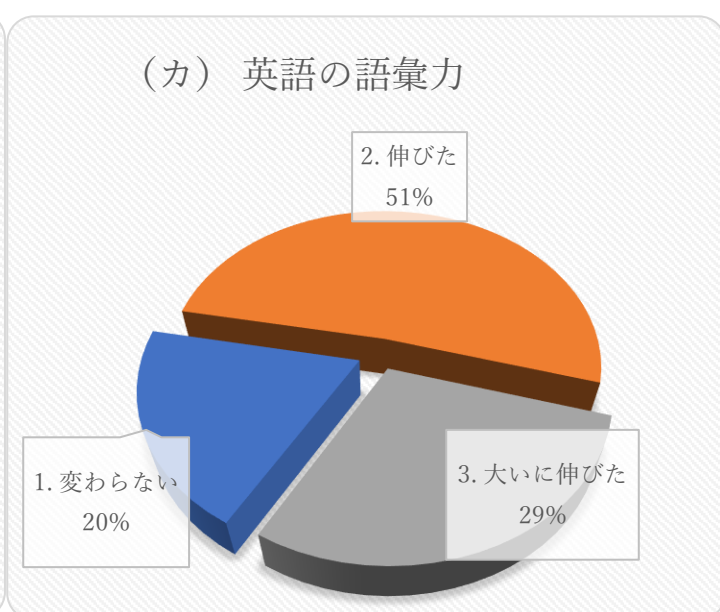
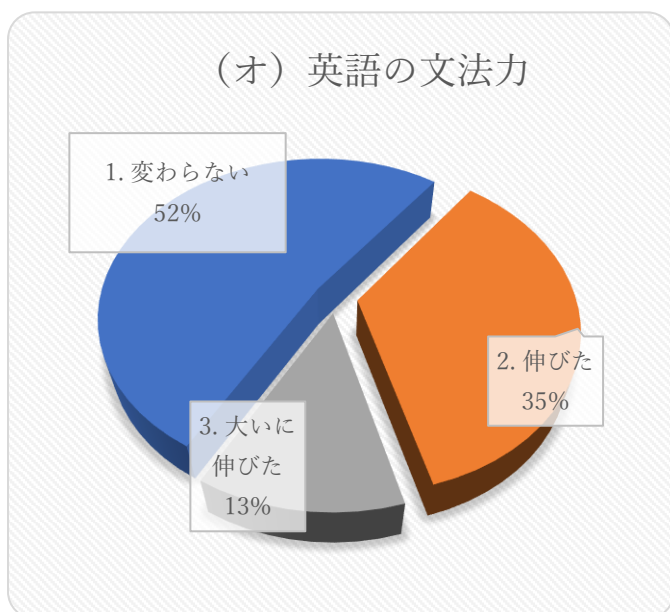
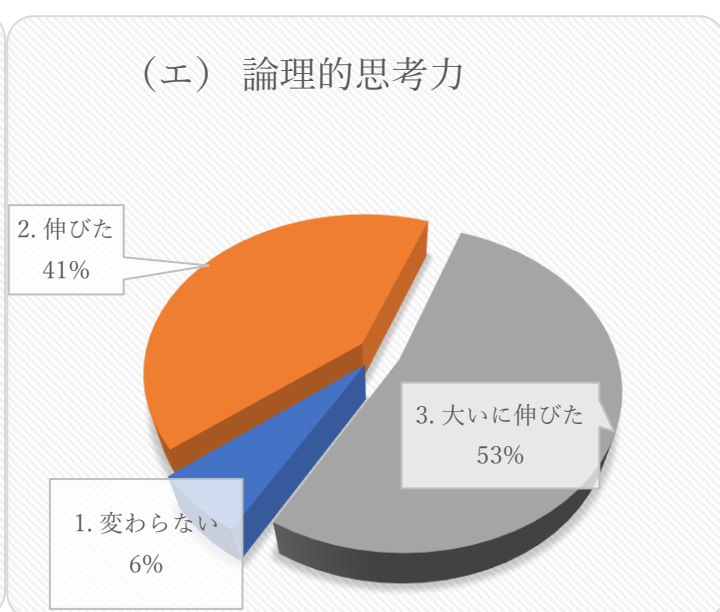
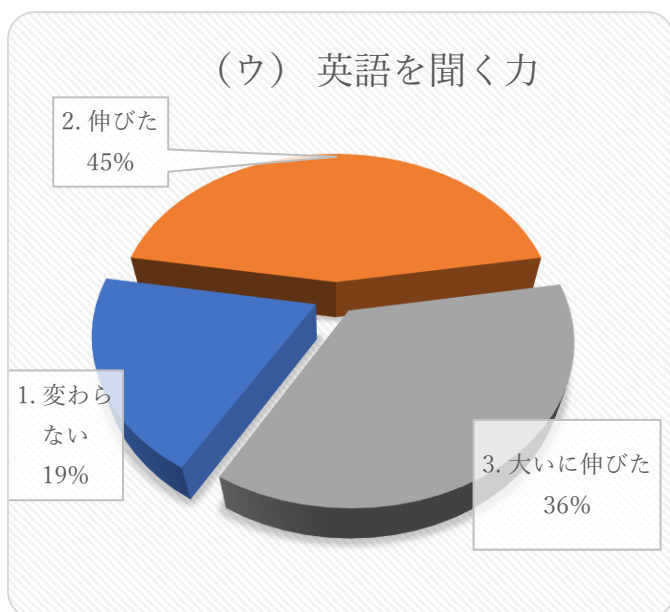
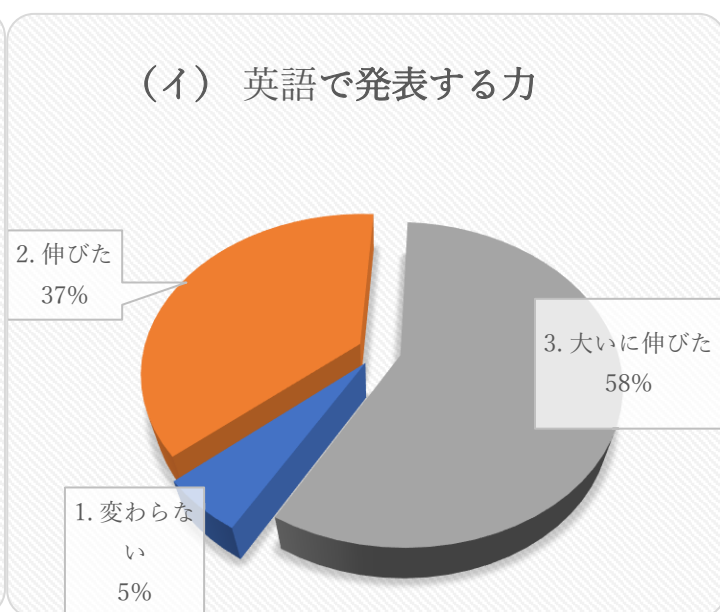
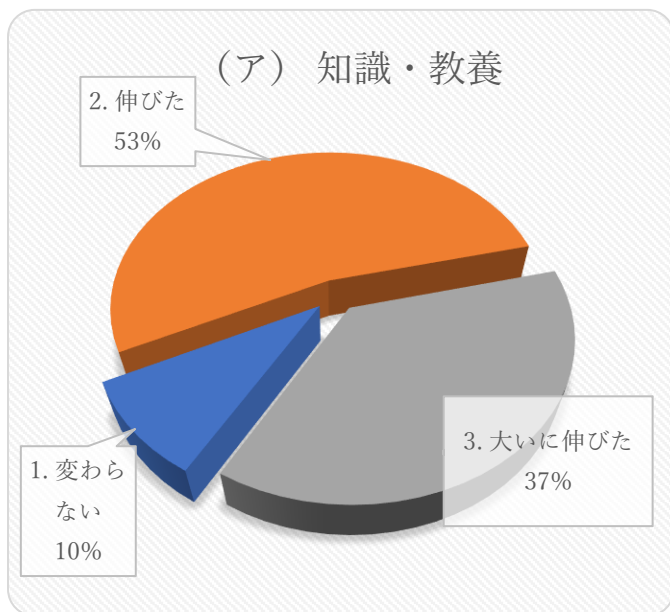


(エ) 他校の生徒と交流ができたこと



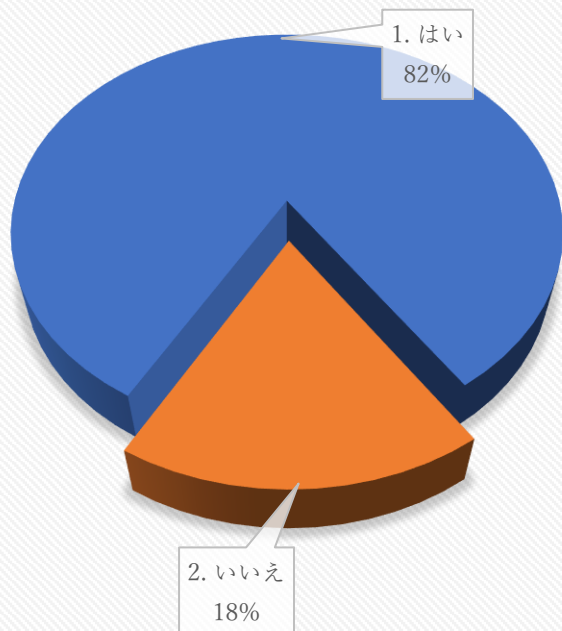


3. Parliamentary Debate を通して、どのような力が伸びたと思いますか。

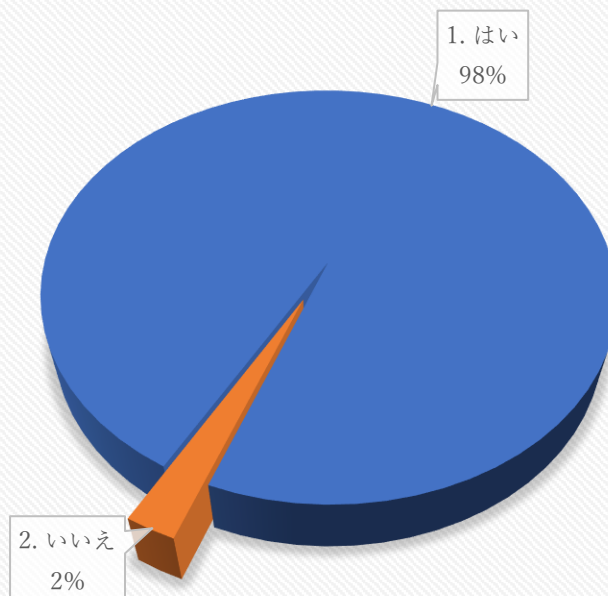


4. Parliamentary Debate(PD) についてお答えください。

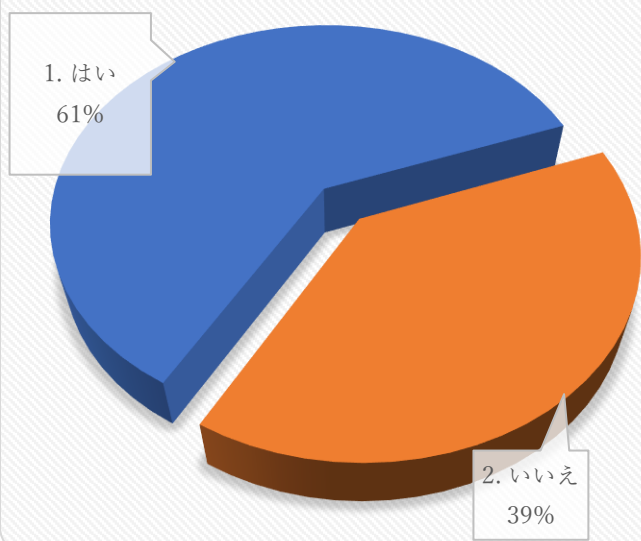
(ア) PDは大学受験に役立つ  
と思いますか？



(イ) PDは将来役立つと思  
いますか？



(ウ) PDを授業でもやりたいと  
思いますか？



## 役員、コーチ

- 理事長 北原隆志（渋谷教育学園渋谷中学高等学校教諭）
- 事務局長 古賀記洋子（日本大学第一高等学校教諭）
- 理事 小林良裕（豊島岡女子学園高等学校教諭）  
前田和（埼玉県立久喜北陽高等学校教諭）  
浜野清澄（さいたま市立浦和高等学校教諭）  
西崎真広（元桐光学園中学校・高等学校教諭）  
天海揚介（OBOG 代表）  
須田智之（筑波大学附属駒場中・高等学校教諭）  
大関朝美（富士見中学高等学校教諭）  
河野周（聖光学院中学・高等学校教諭）
- 監事 油井直次（油井アソシエイツ株式会社 代表取締役）
- 名誉顧問 明石 康（公益財団法人 国際文化会館 理事長、一般社団法人日本英語交流連盟副会長、元国連事務次長）  
沼田貞昭（一般社団法人 日本英語交流連盟会長、元駐カナダ大使）
- 顧問 加藤一郎（千葉大学客員教授、NPO 植物工場研究会特別研究員、独立行政法人 農畜産業振興機構評価委員会委員、一般社団法人 漢方産業化推進研究会顧問、富山県薬用作物実用化研究会顧問、千葉大学医学部附属病院有識者委員）
- 顧問 新庄 一郎（弁護士）
- 大会主顧問 岡田真樹子（一般社団法人 日本英語交流連盟常務理事、元山梨英和大学 人間文化学部人間文化学科教授）
- 大会特別顧問 綾部 功（東海大学 文学部英語文化コミュニケーション学科 准教授）  
中川智皓（大阪府立大学 工学研究科 機械工学分野 助教授）
- HPDU 西日本代表 西山哲郎（香里ヌヴェール学院小学校 学校長）
- チーフコーチ 小野暢思：
- ・ 2014 年 ESUJ 大学対抗ディベート大会優勝、2016 年 ESUJ 社会人英語ディベート大会優勝、2017 年第 20 回記念 ESUJ 英語ディベート大会優勝など、国内外の各種パラメンタリーディベート大会で優勝 31 回、ベストスピーカー賞 26 回
  - ・ 2015 年パラメンタリーディベート世界大会（World Universities Debating Championship）ESL 部門 Quarter Finalist、EFL 部門 4th Best Speaker
  - ・ 各種セミナーの講師を務める
  - ・ HPDU 全国大会ではモデルディベートも行う